

「三重県教育ビジョン」 数値目標実績一覧

資料5-2

○ 数値目標の進捗の状況を把握するにあたって、必ずしも数値目標がすべての施策の進捗状況を測るものではないことなど、数値目標の達成状況により計画全体の進捗が把握されるものではないことに留意が必要です。

【基本施策1】子どもの未来の礎となる「確かな学力・豊かな心・健やかな身体」の育成

【基本施策の数値目標】

施策名	指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況(令和元年度比)
		実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	
—	自分には、よいところがあると思う子どもたちの割合	小学生 80.1% 中学生 74.9%	小学生 79.1% 中学生 79.1% (参考値)	小学生 76.0% 中学生 77.5%	小学生 77.9% 中学生 79.7%	小学生 86.1% 中学生 80.5%	「自分には、よいところがあると思う」という質問に対して、肯定的に回答した公立小中学生の割合について、小学生は2.2ポイント減少し、中学生は4.8ポイント増加しました。

※ 令和2年度実績欄に「(参考値)」とある指標は「全国学力・学習状況調査」の児童生徒質問紙調査の結果から実績値を把握していますが、令和2年度の「全国学力・学習状況調査」が新型コロナウイルス感染症の影響により中止されたことから、県独自で実施した同内容のアンケート調査から把握しています。

【各施策の数値目標】

施策名	指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況(令和元年度比)
		実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	
(1)学力の育成	「全国学力・学習状況調査」における本県の子どもの学力の伸び	小学生 100.2 中学生 98.3	- -	小学生 96.9 中学生 98.7	小学生 95.4 中学生 99.2	小学生 104 中学生 102	「全国学力・学習状況調査」の正答数分布の4階層(ABCD層)におけるAB層の公立小中学生の割合について、小学生は4.8ポイント減少し、中学生は0.9ポイント増加しました。
	勉強をすることが好きな子どもたちの割合	小学生 65.9% 中学生 60.5%	小学生 65.1% 中学生 62.8% (参考値)	小学生 63.0% 中学生 60.1%	小学生 60.4% 中学生 61.2%	小学生 70.0% 中学生 65.0%	「国語の勉強は好きですか」、「算数・数学の勉強は好きですか」という質問に対して、肯定的に回答した公立小中学生の割合について、小学生は5.5ポイント減少し、中学生は0.7ポイント増加しました。
(2)外国人児童生徒教育の推進	日本語指導が必要な外国人児童生徒に対して、日本語指導が行われている学校の割合	86.8%	92.9%	99.2%	100%	100%	日本語指導が必要な外国人児童生徒に対して、日本語指導が行われている学校の割合は、令和5年度の目標値を達成しました。

施策名	指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況(令和元年度比)
		実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	
(3) 幼児教育の推進	就学前教育に独自の計画・方針を策定して取り組む市町の数	15市町	18市町	27市町	29市町	29市町	就学前教育に独自の計画・方針を策定して取り組む市町の数、令和5年度の目標値を達成しました。
(4) 人権教育の推進	人権学習によって人権を守るための行動をしたいと感じるようになった子どもたちの割合	88.5%	88.3%	86.9%	93.1%	98.5%	「差別をなくすために何かできることをしたい」という質問に対して、「思う」、「どちらかといえば思う」と回答した子どもたちの割合は、4.6ポイント増加しました。
(5) 道徳教育の推進	道徳科の授業で家庭や地域と連携した取組を行っている小中学校の割合	小学校 96.6% 中学校 94.0%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	道徳科の授業で家庭や地域と連携した取組を行っている小中学校の割合は、令和5年度の目標値を達成しました。
(6) 読書活動・文化芸術活動の推進	授業時間以外に読書をする子どもたちの割合	小学生 63.9% 中学生 45.5%	小学生 62.1% 中学生 46.3% (参考値)	小学生 58.6% 中学生 46.1%	小学生 56.8% 中学生 44.1%	小学生 65.7% 中学生 50.4%	1日あたり10分以上読書をする回答した子どもたちの割合について、小学生は7.1ポイント、中学生は1.4ポイントそれぞれ減少しました。
(7) 体力の向上と学校スポーツの推進	体カテストの総合評価が「A」・「B」・「C」の子どもたちの割合	75.1%	-	72.5%	71.7%	80.0%	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における総合評価が、上位3段階である「A」・「B」・「C」の子どもたちの割合は、3.4ポイント減少しました。
	授業以外でも運動やスポーツをしたいと思う子どもたちの割合	69.8%	-	84.7%	84.6%	71.5%	授業以外でも運動やスポーツをしたいと思う公立小中学生の割合は、令和5年度の目標値を達成しました。
(8) 健康教育・食育の推進	むし歯予防に取り組んでいる小学校・特別支援学校(小学部)の割合	74.5%	63.3%	56.4%	40.2%	100.0%	給食後の歯磨き指導またはフッ化物洗口を実施している公立小学校・特別支援学校(小学部)の割合は、34.3ポイント減少しました。

※ 令和2年度実績欄に「(参考値)」とある指標は「全国学力・学習状況調査」の児童生徒質問紙調査の結果から実績値を把握していますが、令和2年度の「全国学力・学習状況調査」が新型コロナウイルス感染症の影響により中止されたことから、県独自で実施した同内容のアンケート調査から把握しています。

【基本施策2】個性を生かし他者と協働して未来を創造する力の育成

【基本施策の数値目標】

施策名	指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況(令和元年度比)
		実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	
—	自立した主体として、社会において権利を行使し責任を果たそうと考える高校生の割合	62.3%	64.7%	67.7%	65.0%	74.3%	「社会の一員として権利を行使し、義務と責任を果たそうと考えていますか」、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」という質問に対して、肯定的に回答した県立高校生の割合は、 <u>2.7ポイント</u> 増加しました。

【各施策の数値目標】

施策名	指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況(令和元年度比)
		実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	
(1)主体的に社会を形成する力の育成	社会的な課題について話し合う活動を行っている高等学校の数	23校	33校	40校	48校	56校	政治的事象や環境問題、持続可能な消費と生産など、社会的課題の解決に向けた考えを深める話し合い活動を実施している県立高等学校の数は、 <u>25校</u> 増加しました。
(2)キャリア教育の充実	目標を持って学習や活動に取り組んでいる子どもたちの割合	小学生 88.2% 中学生 86.6% 高校生 65.9%	小学生 91.4% 中学生 91.7% 高校生 71.1%	小学生 92.7% 中学生 93.5% 高校生 73.1%	小学生 90.9% 中学生 90.5% 高校生 70.8%	小学生 92.0% 中学生 90.0% 高校生 75.0%	「目標の達成をめざして、学習や活動ができていますか」という質問に対して、肯定的に回答した公立小中学生および県立高校生の割合について、小学生は <u>2.7ポイント</u> 、中学生は <u>3.9ポイント</u> 、高校生は <u>4.9ポイント</u> それぞれ増加しました。
(3)グローバル教育の推進	日常的な話題や社会的な話題について、英語でやりとりすることができる高校生の割合	41.7%	41.9%	41.8%	45.5%	50.0%	高等学校卒業段階でCEFR A2レベル相当以上を達成した県立高校生の割合は、 <u>3.8ポイント</u> 増加しました。
	地域の行事に参加している子どもたちの割合	小学生 74.1% 中学生 56.8%	小学生 71.1% 中学生 54.4% (参考値)	小学生 65.7% 中学生 52.5%	小学生 58.3% 中学生 46.8%	小学生 76.1% 中学生 62.8%	「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という質問に対して、肯定的に回答した公立小中学生の割合について、小学生は <u>15.8ポイント</u> 、中学生は <u>10.0ポイント</u> それぞれ減少しました。
(4)知識を活用して新たな価値を創り出す力の育成	実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科横断的な学習活動を行った高等学校の数	15校	18校	24校	32校	36校	科学、技術、工学、リベラルアーツ・教養、数学等における見方・考え方を総合的・統合的に働かせ、問題を発見し、解決する教科横断的な学習活動を行った県立高等学校の数は、 <u>17校</u> 増加しました。
	「困難だと思うことでも、前向きに考えて挑戦している」と答えた高校生の割合	71.8%	77.3%	78.8%	76.9%	76.0%	「困難だと思うことでも、前向きに考えて挑戦していますか」という質問に対して、肯定的に回答した県立高校生の割合は、 <u>5.1ポイント</u> 増加しました。

※ 令和2年度実績欄に「(参考値)」とある指標は「全国学力・学習状況調査」の児童生徒質問紙調査の結果から実績値を把握していますが、令和2年度の「全国学力・学習状況調査」が新型コロナウイルス感染症の影響により中止されたことから、県独自で実施した同内容のアンケート調査から把握しています。

【基本施策3】特別支援教育の推進

【基本施策の数値目標】

施策名	指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況(令和元年度比)
		実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	
—	特別支援学校高等部の一般企業就職希望者の就職率	100%	100%	100%	100%	100%	特別支援学校高等部の一般企業就職希望者の就職率は、令和5年度の目標値を達成しました。

【各施策の数値目標】

施策名	指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況(令和元年度比)
		実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	
(1)一人ひとりの学びを支える教育の推進	小中学校の通常の学級において個別の教育支援計画および個別の指導計画を作成した学校の割合	支援計画 小学校 95.1% 中学校 94.8% 指導計画 小学校 95.7% 中学校 96.7%	支援計画 小学校 97.4% 中学校 98.7% 指導計画 小学校 98.3% 中学校 98.7%	支援計画 小学校 98.3% 中学校 96.7% 指導計画 小学校 99.7% 中学校 97.4%	支援計画 小学校 98.3% 中学校 98.7% 指導計画 小学校 100% 中学校 99.3%	支援計画 100% 指導計画 100%	通常の学級において、個別の教育支援計画を作成した公立小中学校の割合について、小学校では <u>3.2ポイント</u> 、中学校では <u>3.9ポイント</u> それぞれ増加しました。 また、個別の指導計画を作成した公立小中学校の割合について、小学校では <u>4.3ポイント</u> 、中学校では <u>2.6ポイント</u> それぞれ増加しており、 <u>小学校では令和5年度の目標値を達成</u> しました。
(2)特別支援学校における自立と社会参画に向けた教育の推進	特別支援学校における交流及び共同学習の実施件数	851回	410回	524回	756回	950回	県立特別支援学校と小中学校、高等学校等との交流及び共同学習を実施した回数は、 <u>95回減少</u> しました。

【基本施策4】安全で安心な学びの場づくり

【基本施策の数値目標】

施策名	指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況(令和元年度比)
		実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	
—	学校生活に安心を感じている子どもたちの割合	小学生 92.0% 中学生 96.5% 高校生 88.9%	小学生 94.7% 中学生 96.7% 高校生 92.8%	小学生 95.9% 中学生 97.5% 高校生 92.4%	小学生 96.0% 中学生 97.2% 高校生 93.0%	小学生 95.4% 中学生 98.7% 高校生 92.3%	「学校で、いじめや暴力の心配がなく、安心して学習することができますか」という質問に対して肯定的に回答した公立小中学生および県立高校生の割合について、小学生は4.0ポイント、中学生は0.7ポイント、高校生は4.1ポイントそれぞれ増加しました。

【各施策の数値目標】

施策名	指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況(令和元年度比)
		実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	
(1)いじめや暴力のない学校づくり	いじめ防止応援サポーターとしていじめの防止に取り組む団体数	450団体	484団体	516団体	523団体	650団体	いじめ防止応援サポーターとして、「三重県いじめ防止条例」の趣旨に賛同し、いじめの防止に取り組む事業所・団体・個人の数、73団体増加しました。
	いじめの認知件数に対して解消したものの割合	95.3%	94.9%	92.1%	集計中	100%	—
(2)防災教育・防災対策の推進	家庭や地域と連携した防災の取組を実施している学校の割合	91.7%	74.1%	75.0%	83.6%	100%	家庭やPTA、自主防災組織、地域住民など、他の主体と連携した防災の取組を実施している公立小中学校および県立学校の割合は、8.1ポイント減少しました。
(3)子どもたちの安全・安心の確保	学校安全ボランティアの中心となるスクールガード・リーダーの登録者数	5人	28人	42人	65人	29人	通学路の見守りボランティアを行うスクールガードの活動に対して専門的な指導・助言等を行うとともに、学校における防犯教室等を支援するスクールガード・リーダーの登録者数は、令和5年度の目標値を達成しました。

施策名	指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況(令和元年度比)
		実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	
(4)不登校児童生徒への支援	不登校児童生徒が、学校内外の機関等での相談・指導等を受けた割合	小学生 72.9% 中学生 65.9% 高校生 48.5%	小学生 72.9% 中学生 63.2% 高校生 58.0%	小学生 66.7% 中学生 62.2% 高校生 49.7%	集計中	小学生 89.1% 中学生 88.1% 高校生 60.7%	-
(5)学びのセーフティネットの構築・学びの継続	生活困窮家庭またはひとり親家庭の高校生世代が利用できる学習支援を実施する市町数	18市町	18市町	18市町	18市町	26市町	生活困窮家庭またはひとり親家庭の高校生や高校中退者等高校生世代が利用できる学習支援を実施する市町数は、増減なしでした。
	高等学校(全日制)における中途退学率	0.63%	0.51%	0.47%	集計中	0.48%	-
(6)学校施設の充実	学校施設の長寿命化計画に係る長寿命化改修に着手した建物数	-	9棟	21棟	32棟	41棟	県立学校施設の長寿命化計画において定めた長寿命化改修に着手した建物数は、 <u>32棟増加</u> しました。

【基本施策5】地域との協働と信頼される学校づくり

【基本施策の数値目標】

施策名	指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況(令和元年度比)
		実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	
—	コミュニティ・スクールに取り組んでいる小中学校の割合	36.3%	52.6%	74.3%	79.7%	50.0%	コミュニティ・スクールまたはこれに類似した仕組みを導入している公立小中学校の割合は、令和5年度の目標値を達成しました。

【各施策の数値目標】

施策名	指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況(令和元年度比)
		実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	
(1)地域とともにある学校づくり	家庭や地域と一体となった教育活動が行われている小中学校の割合	66.7%	77.6%	67.0%	70.6%	81.0%	保護者や地域の方々が参画した授業支援や、児童生徒に対する教科指導等の学習支援が行われている公立小中学校の割合は、3.9ポイント増加しました。
(2)学校の特色化・魅力化	地域や産業界等と連携し、学校の特色化・魅力化に取り組んでいる県立高等学校の数	35校	40校	45校	50校	56校	地域等の課題に対して、地域や産業界等と連携して課題解決型学習や人材育成等に取り組んでいる県立高等学校の数は、15校増加しました。

施策名	指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況(令和元年度比)
		実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	
(3)教職員の 資質向上とコン プライアンスの 推進	授業で主体的・対話 的に学習に取り組ん でいると感じる子ども たちの割合	小学生 主体的 77.5% 対話的 73.4% 中学生 主体的 77.6% 対話的 74.2% 高校生 主体的・対話的 73.5%	小学生 主体的 74.4% 対話的 78.5% 中学生 主体的 73.0% 対話的 78.9% 高校生 主体的・対話的 77.6% (参考値)	小学生 主体的 78.2% 対話的 78.2% 中学生 主体的 83.9% 対話的 78.9% 高校生 主体的・対話的 80.0%	小学生 主体的 77.6% 対話的 78.6% 中学生 主体的 83.1% 対話的 80.1% 高校生 主体的・対話的 81.5%	小学生 主体的 82.5% 対話的 78.4% 中学生 主体的 82.6% 対話的 79.2% 高校生 主体的・対話的 78.5%	「授業で主体的・対話的に取り組んでいる」という質問に対して、肯定的に回答した公立小中学生および県立高校生の割合について、小学生は、主体的な学習では0.1ポイント、対話的な学習では5.2ポイントそれぞれ増加しました。中学生は、主体的な学習では5.5ポイント、対話的な学習では5.9ポイントそれぞれ増加しました。高校生は、8.0ポイント増加しました。
	コンプライアンスの徹 底に取り組んだ所属・ 公立学校の割合	-	100%	100%	100%	100%	組織マネジメントシート、学校マネジメントシートまたは行動計画、学校経営の改革方針等において掲げたコンプライアンスに係る目標について、年度末時点で「達成済み」となった所属・公立学校の割合は、令和5年度の目標値を達成しました。
(4)学校にお ける働き方改 革の推進	教職員の満足度	62.0点	63.5点	63.6点	62.5点	64.0点	教職員満足度調査(公立小中学校および県立学校対象)における満足度の合計点は、0.5ポイント増加しました。
(5)家庭の教 育力の向上	県が関わって実施し た「みえの親スマイル ワーク」の実施市町 数	4市町	5市町	10市町	14市町	29市町	申込みの受付から実施までの間に県が関わって「みえの親スマイルワーク」を実施した市町は、10市町増加しました。
(6)社会教育 の推進と地域 の教育力の向 上	公民館等の社会教育 活動として、地域課題 の解決に向けた取組 を行っている市町数	13市町	18市町	24市町	26市町	29市町	公民館等の事業に関する調査において、「地域における課題の解決に向けた取組を行っている」という質問に対して、「行っている」と回答した市町は、13市町増加しました。
(7)文化財の 保存・活用・継 承	新たな文化財保存活 用地域計画のもと、 地域社会が一体と なって保存・活用・継 承に取り組む国・県 指定等文化財数	0件	26件	26件	26件	160件	地域社会総がかりで保存・活用・継承を図るため、市町が新たに策定する文化財保存活用地域計画に位置づけられた国・県指定等文化財の数は、26件増加しました。

※ 令和2年度実績欄に「(参考値)」とある指標は「全国学力・学習状況調査」の児童生徒質問紙調査の結果から小中学生に係る実績値を把握していますが、令和2年度の「全国学力・学習状況調査」が新型コロナウイルス感染症の影響により中止されたことから、県独自で実施した同内容のアンケート調査から把握しています。